

企画総務常任委員会

番 号	令6・6号	受理月日	令和6年9月19日	付託月日	令和6年10月18日
件 名	米軍辺野古新基地建設を中止するように国会に意見書を出すことを求める陳情				
請 願 者					
紹介議員					
<p>要旨</p> <p>米軍辺野古新基地は、美しく自然豊かな辺野古・大浦湾を埋め立ててつくられる。2019年沖縄県民は県民投票で辺野古新基地建設に反対の意思を表したが、国はそれを無視して工事を続けている。</p> <p>世田谷区議会は国会に辺野古新基地建設中止の意見書を出すように求める。</p> <p>理由</p> <ol style="list-style-type: none"> 1, 国は沖縄県民の辺野古新基地建設反対の2019年住民投票結果を無視して建設を続けている。これは地方自治を決めている憲法第92条、95条に違反するものである。 2, 辺野古・大浦湾は、珊瑚礁、ジュゴン、アオウミガメが生息する美しく豊かな海であるが、基地建設のため埋め立てられ、海にいる生き物は死滅させられる。 3, 大浦湾の海底の地盤はマヨネーズのような軟弱な地盤である。そのための建設工事費用は9300億円の莫大なものになる。これは日本が受け持つため私たちの税金があてられる。地盤改良工事を開始してから基地ができるまで約12年を要する。 4, 日本の国土の0.6%に当たる沖縄に日本にある米軍基地の70%があり、基地のあることによる人権上、経済上の被害、損害が起り続けている。これ以上沖縄に基地を増やすのは、沖縄県民の人権、安全で安定した生活をより脅かすことになる。 5, 日本国憲法第9条で日本・私たちは戦争をしないとしている。しかし沖縄に多くの米軍基地があることは、沖縄が戦争に巻き込まれる可能性が高い場所になって 					

いるということである。辺野古新基地建設は、より沖縄県民が戦争に巻き込まれる可能性を高めることになる。またそれは当たり前であるが、日本全体が戦争に巻き込まれる可能性が高くなるということである。